

## 人間総合科学大学通信

2013年度の始まりです。学報『華蓮だより』は4月、7月、10月、1月と季節ごとに年4回の発行です。

先生方からのメッセージ、イベント情報、各種連絡さらには卒業研究の進め方等掲載していますので必ず目を通しましょう。

春

## よりよく生きる上で必要な「科学的な眼」を養う

人間総合科学大学に入学された皆様、新しい年度を迎えた在学生の皆様、おめでとうございます。こころよりお祝い申し上げます。

今年は立春を迎えてもとても寒い日が続き、北日本では記録的な積雪となっていました。しかし、3月中旬を過ぎ、三寒四温という言葉が示すように次第に暖かな日差しが降り注ぎ、いよいよ新緑のまぶしい季節がやってきました。新入生の皆様も、在学生の方々も、春の訪れとともに、新たなスタートを切り、期待に胸を膨らませていることと思います。

特に新入生の皆様にお伝えしたいのは、人間総合科学大学の建学の精神です。しっかりと謳われているのは、「こころ」「からだ」「文化」の3つの領域から、人間の総体を科学的に探究することです。

今、テレビでは、科学の番組がとて多くなっています。しかも、生き方や健康、食や睡眠といった私たちの日常の話題を取り上げて、科学の眼から解説したものが多くなっています。人間が文明を創造して以来、科学は人間観や生命観、健康観に大きな影響を与え続けていました。しかも今日ほど、科学的なエビデンスが「健



久住真理 理事長・学長

康」や「生命」の維持や、「幸福」の創造にとって重要視される時代はありません。

言いかえれば「科学的なエビデンスに基づいた情報をつかんでおくことで、生きるうえでの正確な判断と、より良い行動が結びつきます。【中略】「脳と心」の関係や「細胞」「DNA」「遺伝子」のつながりといった生命の基本原理は、科学を学ぶことによって理解できますし、それを生活に生かすだけではなく、生きることの本質と幸せの原則を理解することに役立つはずです」(拙著『運命を変える 心とからだの磨き方』幻冬舎刊)ということができるでしょう。

ですからさまざまな学修を通して、今日の社会を生きる上で必要となる科学的・統合的な眼を養ってください。そして、建学の精神にある「自立」と「共生」のために、身につけた

## 目次:

よりよく生きる上で必要な「科学的な眼」を養う／久住真理 理事長・学長	1
社会の変化と人間総合科学／大東俊一 学科長	2
2013年 春／島田凉子 先生	3
意欲から心身健康へ／鈴木はる江 先生	4
第26回生涯学習特別講義を開催しました	5
学長著書のご案内	5
卒業研究について	6
大学とのコミュニケーション／休校日のお知らせ	8
オフィスアワー予定表	9
寄付金のお願い	10

「よりよく生きるための知恵 (Knowledge for well-being)」を活かしてください。

本学の母体である学校法人早稲田

医療学園も60年という時期にあります。私たちとともに新しい時代を、しなやかにたくましく生きていきましょう。

## 社会の変化と人間総合科学

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、在学生の方々におかれましては新年度となって、気持ち新たに過ごしていることでしょうか。

本学は今年度より通信教育課程をリニューアルしていきます。半期セメスター制に移行していくとともに、科目修了試験やスクーリングをインターネット化してまいります。科目修了試験はインターネット環境があれば、世界中(?)どこからでも全科目を受験できるようになります。また、スクーリングは一部の実験・実習科目や教職関連科目を除き、いつでもどこでも受講できるようになります。現代社会の変化に合わせ、忙しい社会人が自分のライフスタイルに沿って学修を進めていくことのできる環境を提供することを目指しています。

考えてみれば、現代社会の変化は各領域において一段と速さを増しているように思います。医療の領域におけるiPS細胞に関する研究はもとより、経済・社会の領域においてはTPPへの参加や社会における原発の位置づけの問題をはじめとして、多くの領域において同時に重要な変化が生じようとしています。それぞれの内容は個別かつ専門的ではありますが、私たちの人間社会の問題であることは共通しています。その領域の

専門家ではない私たちにとって、問題の是非を判断することは容易ではないかもしれませんが、社会の主体である私たちが思考を停止するようなことがあってはならないと思います。

ご承知のように、本学では、従来の人間に関わる諸科学を統合する学際的領域「人間総合科学」を構築し、「こころ」「からだ」「文化」の3つの側面から、統合的に人間を理解することを目指しています。そして、学ぶ者が幅広く教養を身につけることを通して、社会に役立つ視点や生きるための考え方を身につけ、主体的・自立的によりよく生きるための知恵を創造することを目的にしています。このような視点に立った時、たとえ当該領域の専門家ではないとしても、地に足がついた生活人としての私たちが社会の諸現象に対して主体的に考えていくことができると思います。

この意味において本学の通信教育課程のリニューアルは時代の要請に適ったものであり、学生の皆さんのニーズに合致したものであると確信しています。この機会に学修の質をさら高め、現代社会において「よりよく生きるための知恵 (Knowledge for well-being)」を獲得してください。皆さんの今年度のご活躍を祈っております。

くすみ まり  
学校法人早稲田医療学園理事長、人間総合科学大学学長、「心身健康科学概論」担当



大東俊一 学科長

だいとう しゅんいち  
人間科学部 人間科学科 学科長、「英語～速読演習～」 「文明科学概論」 「比較文化論」 「西洋文化論」 「比較芸術論～日本の美術～」 「人間観」 「異文化コミュニケーション」 「生涯学習特別講義 ネット授業2・4」 担当

## 2013年 春

新学期が始まりました。新入学を果たされた皆様、ご入学おめでとうございます。

芽吹きの春には、さまざまな新しいことが始まります。東京サテライトはお茶の水に移転し、人間総合科学大学の歴史に新しい一頁が加わりました。お茶の水は多くの大学が集まっている古くからの学生街で、神田川の土手には桜や菜の花が咲き乱れ、川面がきらきらと光るなか舟が行き交う光景は、心和みます。



島田涼子 先生

さらに、この春久住眞理学長が新しく本を出版されました。幻冬舎『運命を変える心とからだの磨き方』です。全国の書店、オンライン書店で販売されておりますので、すでにご購読された方もいらっしゃるかと思います。本書には学長の人生観、よりよく生きる知恵が詰まっています。

私たち日本人の多くが、震災以来、生きることを意味をあらためて問い始めたように思います。自分が生きることによってどんな意味があるのか、何のために生まれてきて、生かされているのか、自分の人生でなすべきことがあるとすればそれは何なのか……。人類はこの問いを何千年も考え続けてきました。皆さんが人間総合科学大学に入学なさった動機もこの問いに結びついているのではないのでしょうか。

人類には災害や戦争をはじめさまざまな災厄が降りかかってきました。何の落ち度もない人の上に苦難が振りかかることを「不条理」と呼びますが、人はなぜ不条理を生きなければならないのか、考えても考えてもその答えを私は見つけることができいま

せん。

人間は自分だけでなく他者の苦しみ悲しみを、苦しみ悲しむことができます。だから、この地球上で誰かが苦しめられていたら、自分だけが安心して眠ることなどできないのです。震災のあの混乱の中で他者を助けるために自分の安全や利益を度外視して動いた人たちが大勢いました。それは学長も書いておられる共感能力(共感脳)というものがあるからです。それゆえ、ときに私たちの人生はいつそう困難なものとなります。しかしそこにこそ、人として生きる意味を見出す糸口もあるのかもしれないのです。想像することも感じることもやめられそうにない、そんな自分から逃れようがないのであれば、感じることを、想像、体験すべてを全うし、そこで考え、行動を選択していくしかないのでしょうか。学長は「まっとうに葛藤し、喜びも、悲しみも、苦しみもすべて経験して・・・」と書かれています。学長のご本には人生とがっぷり四つに組むための勇気をくれる言葉が詰まっています。人生を肯定するための生きる知恵が詰まった本書を、どうぞ本学での卒業研究を進められるさいに参考書としてご活用ください。

しまだ りょうこ  
「人間理解へのアプローチ～心理臨床の視点」  
「人間関係論～精神分析を基礎として～」「交流分析～自己理解を深め、社会生活に役立つ～」  
「現代家族論」「行動科学概論」担当

## 意欲から心身健康へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年の冬は記録に残る寒波が猛威を振るい、各地に降雪の被害をもたらしました。首都圏では交通機関が大幅に麻痺をきたした日もありましたが、北海道・東北・北陸などの降雪地域では連日の除雪に大変なご苦労をされたことと思います。このような例年のない厳しい寒波を通り越した後だけに、ようやく春らしい陽光がまぶしい季節を迎えることが出来、気持ちも沸き立つ思いです。

新入生の皆さんは今、それぞれ本学での学びに期待と希望に胸を膨らませておられることと思います。学修の目的・動機はそれぞれ異なるでしょうが、人間のこころ・からだ・文化を統合的に学ぶという本学の理念にひかれたことは共通なのではと推察します。

人間の「こころ」と「からだ」が相互に影響を及ぼしあうことを「心身相関」といいます。例えば私たち勤労世代の場合、仕事で忙しい時は肩こりが激しいのに、その仕事が一段落すると「肩の荷が下りる」ように肩こりが緩和するなどよく体験します。この心身相関は一生続くのだということ、勤労から解放された高齢者においても気持ちや意欲に伴い身体の状態が日々変化していることを、高齢の義父の様子から感じています。家の中では腰痛を訴えてほとんどリクライニングの椅子に座りっぱなしの生活でも、趣味の囲碁を仲間と楽しむためには囲碁会館に通う体力を発揮するのです。

75歳でエベレスト登頂を成功させた三浦雄一郎氏の父の三浦敬三氏は、なんと99歳でモンブラン・スキー滑降を成功させ、逝去の前年の100歳の時には親 敬三氏・子 雄一郎氏・孫・曾孫の4世代でアメリカ・スキー滑降をなされたスーパー老人です。その著書を拝見すると、スキーを楽しみたいがために三浦雄一郎氏と同居せずに、日々の暮らしのすべてにご自身で工夫した運動・食事を取り入れて、体力維持に努めておられたようです。スキーを楽しみたいという気持ちが自立した生活と行動を導き、それが身体機能を高いレベルに保っていたということでしょう。これはかなり特異な例かもしれませんが、何かをやりたいという意欲が私たちの生命・健康の維持に少なからず関わっていることを、皆さんも色々な場面で経験されているのではと思います。

新入生の皆様はこれからの2年～4年間、人間総合科学大学で様々な科目を学び、多忙なスケジュールを調整してスクーリングに参加し、試験に臨み、卒業研究に挑むことでしょう。その過程でくじけそうになることもあると思いますが、初心の学びたいという意欲を思い出して、是非当初の目的を達成する晴れの日を迎えてほしいと願っています。



鈴木はる江 先生

すずき はるえ  
「人間科学概論」「心身健康科学概論」「ストレスと健康」「運動生理学」「自律神経生理学」担当





## 第26回(2012年度第3回)生涯学習特別講義『健康をささえる生体リズム』を蓮田キャンパスで開催しました

3月16日(土)に、第26回(2012年度第3回)生涯学習特別講義が蓮田キャンパスで開催されました。今回は、『健康をささえる生体リズム』と題して特別講師に、宇都宮大学農学部生物生産科学科の飯郷雅之先生をお迎えして、実施されました。



飯郷雅之先生



鍵谷方子先生

飯郷先生は「体内時計の秘密—メラトニンから時計遺伝子へ—分子生物学が切り拓く本能的脳機能研究の最前線」として、ご自身のこれまでの研究成果を中心に、時間生物学に関する最前線の研究成果、そ

して今後の展望までをご披露いただきました。

本学の教員では、鍵谷方子先生が「生体リズムと女性の心



庄子和夫先生

身健康」、庄子和夫先生が「生体リズムは生物の寿命に影響を及ぼす?」、小岩信義先生が「からだのリズム(振動現象)とこころ」、コーディネーターである私が「健康をつかさどる体内時計」として、健康的な生活を営むために、それぞれの専門領域の立場から生体リズムのしく

みについて盛りだくさんの講義をおこないました。

パネルディスカッションでは、今回はごく身近なテーマでもある時差ボケといったものから最先端の遺伝子の話題まで、幅広く熱のこもった議論が行われました。参加者の皆さんにとって、体内時計のしくみや、それをとりまく現代社会において、新たな課題について考えるきっかけになったのではないかと思います。

(青木清 記)



小岩信義先生



青木清 副学長

生涯学習特別講義の詳細は本学ホームページ(<http://www.human.ac.jp/>)でご確認ください。

## 学長著書のご案内

幻冬舎より、久住学長の書籍『運命を変える 心とからだの磨き方』が3月4日(月)に発行されました。本学学長の語る科学的・合理的な“生き方”のヒントです。

### ◆「はじめに」より◆

この本は、人間を科学的に見るという眼を持って書かれています。人間の本質を見ることは、あなた自身がよりよく生きるための合理的なヒントを与えてくれます。私のさまざまな経験を通して感じてきた実感をお伝えすることで、あなた自身の迷いや不安をどうしたら取り除くことができるかというこのヒントをお渡しできればうれしいと思っています。

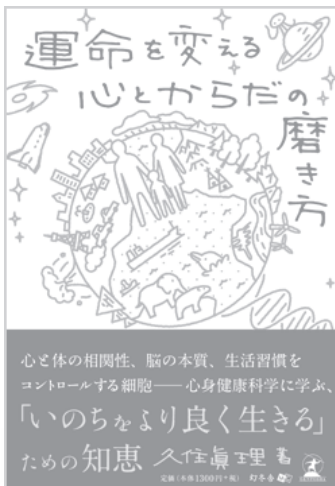
しかし、決してがんばりすぎないでください。ここに書かれていることは、考えるためのヒントですから、自分らしく、凛として生きるために役立ててください。あなた自身と周囲の人たちを好きになるために活用してください。それが実は「あなた自身」のこれからの人生の中で、“生き生きと輝く”ために大いに役立つ知恵となるはずですよ。

発売：幻冬舎 / 発行：幻冬舎MC

定価：1,300円＋税

ISBN：978-4-344-99931-2 C0095

※なお本書は、本学「卒業研究」の教材となります。



心と体の相関性、脳の本質、生活習慣をコントロールする細胞—心身健康科学に学ぶ、「いのちをより良く生きる」ための知恵 久住貞理 著

# 卒業研究について

## データを読む面白さ

厚生労働省発表の「都道府県別生命表(2010年)」によると、1975年から30年以上長寿日本一を誇ってきた沖縄県の女性の平均寿命が第3位となりました。男性は10年前から低落し、今回は30位となっています。特に65歳以上の人の死亡率は変わらないのに、それ以下の若い世代の死亡率が高まっているといわれます。何故こうした現象が起きたのでしょうか。

これは、戦後、沖縄がアメリカの施政権下に置かれ、食生活も急速に欧米化したことと関係があるといわれます。肉食中心で高脂肪の食事の摂取により、循環器系の疾患が増え、若い世代に短命化をもたらしているのです。この事態は日本全国での脂肪摂取量の増加から考え、日本人の総短命化の序章だと指摘もあります。

一方、男女ともに1位となったのは長野

県。30年前までは決して長寿県ではなかった長野県が1位となったのは、歴史的にも教育や公衆衛生の先進県で、地域医療にも力を入れてきたからといえます。県では「健康長寿課」を設置し、生活習慣病の予防や長生きのための活動に自治体を挙げて取り組んでいるのです。

都道府県別長寿ランキングのデータからも、その背後に「こころ・からだ・文化」の様々な要素が見えてきます。さて、自分の住む自治体は？地域は？例えばこうしたデータから足元の問題を見直し提言することは、とても実践的で面白い研究になるでしょう。

卒業研究  
コーディネーター  
岡野幸江先生からの  
ワンポイント・アドバイス

## 4年次(前期・後期)生へのお知らせ

卒業研究において、指導教員との面接は原則必須になっています。研究過程での疑問点や相談事など、直に向き合って話をする事で、さらに充実した研究成果へと結びつけるきっかけにもなりますので、研究を進めながら積極的に面接指導

を受けましょう(居住地が遠方であることや、諸事情により電話面接が可能になる場合があります。申込みの際、指導教員にご相談ください)。

## 卒業研究に関するその他のお知らせ

◆卒業生が作成した卒業研究報告書を閲覧することができます。

⇒UHAS@Myキャンパス>TOP画面>卒業研究>Web公開

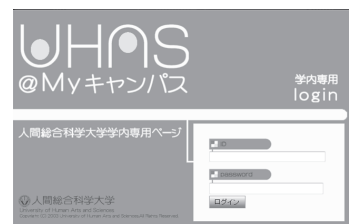
▼指導教員より公開することを推薦され、承諾したかたの卒業研究報告書が掲載されています。

◆卒業研究報告書はUHAS@Myキャンパスからも提出できるようになりました。詳しくは、提出承認通知書に同封される「提出要領」をご確認ください。

◆「卒業研究履修スケジュール表【2013年度版】」は

⇒UHAS@Myキャンパス>卒業研究>卒業研究係からのお知らせ>

3月3日付記事「卒業研究スケジュール表【2013年度版】」に掲載されています。



UHAS@Myキャンパス

## 卒業研究スケジュール

卒業予定時期	手続きの内容
2013年9月 卒業予定者	<p><b>【草稿の提出にあたって】</b></p> <p>4月1日から草稿(1回目)の提出受付が始まります。提出方法は、UHAS@Myキャンパス(「卒業研究 ○○○○(指導教員名)」→「草稿提出」)または郵送です。提出期限は5月31日ですから、今の段階でまだ不安を抱えている方でも、これからの頑張り次第で十分追いつけます。指導教員から、卒業研究報告書として提出承認通知書が得られるまでに、数回の添削指導を受けながら草稿をまとめていくことになりますので、早めに提出することを心掛け、自分から積極的に連絡し、指導やアドバイスを受けるようにしてください。また、パソコンで作成する学生は、パソコンのトラブル等に備えて、メモや原稿のバックアップをとっておきましょう。手書きで作成される学生は、万一の郵便事故に備え、原本は手元に残し、コピーをお送りください。</p> <p><b>《ご注意ください》</b></p> <p>卒業研究報告書を提出するには、<b>7月15日までに指導教員より提出承認通知書を得る必要があります</b>。これを得るためには、最低1回以上は加筆修正を行って頂く必要がありますので、1回目の草稿は早めに提出しましょう。また、7月16日からは卒業研究報告書の受付期間が始まります。この頃は多くの提出物が重なり、指導教員からの回答を得るまでに時間がかかる場合もありますので、7月31日の提出期限間際にあわてないよう、余裕をもった対策をたておくことをお勧めします。</p> <p><b>～よくある質問～</b></p> <p>Q.「草稿」提出期間には、完全な原稿しか提出できないのですか。</p> <p>A.「完全に仕上がった原稿でなくても提出していただくことは可能です。期限に余裕があるうちは、例えば「第一章」あるいは「目的」と「方法」など、ある程度まとまった原稿ができたところで、指導教員の助言を求めてみましょう。そのようなやりとりを繰り返して「提出承認通知書」を得られる草稿にまとめていきます。「表紙(タイトルページ)」「要約・キーワード」「目次」「人間総合科学の理解」は本文が完成してからのほうが適切なものが書けるでしょう。</p>
2014年3月 卒業予定者	<p><b>【いよいよ、研究の開始です】</b></p> <p>研究テーマの申請は終わりましたか？ 提出しない場合は「2014年3月卒業予定」のスケジュールでは卒業研究を履修しないとみなされますので、十分注意してください。</p> <p>提出された研究テーマに基づいて、指導教員が決定されます(「指導教員決定通知書」は、5月中旬に発送を予定しています)。それまでに質問、相談がある場合は、UHAS@Myキャンパス「卒業研究Q&amp;A」または郵送で受付しています。また『卒業研究履修の手引き』でスケジュールをよく確認しておきましょう。</p> <p>指導教員決定後には「研究プラン概要書・ヒアリングシート」を提出しなければなりませんから、「指導教員決定通知書」を待つ間にも、文献(先行研究)を探ることや研究方法を検討しておくことをお勧めします。「研究プラン概要書」の内容に基づき、指導教員の受付承諾を受けると、いよいよ本格的な研究の開始です。指導教員から再提出を指示される場合がありますので、余裕をもって提出しましょう(受付承諾された場合は、研究プラン概要書「指導教員所見・指示欄」の1に○が付けられ返信されます)。</p>
2014年9月 卒業予定者	<p><b>【卒業研究について考え始めましょう】</b></p> <p>『卒業研究履修の手引き』をよく読んで、スケジュールを確認しておきましょう。ご質問には、「卒業研究係」又は「卒業研究コーディネーター」がお答えします。問い合わせは、UHAS@Myキャンパス「卒業研究Q&amp;A」または、質問票を郵送でお送りください。</p> <p>5月には予備調査(任意)を実施します。予め考えているテーマや、卒業研究についてどのような疑問を持っているか調査します。提出された回答を基に、多く寄せられた疑問等へお答えした「よくある質問 卒業研究Q&amp;A」を作成し、UHAS@Myキャンパスへ掲載いたします。この予備調査で回答したテーマと「研究テーマ申請票」の内容が異なっても問題ありません。</p>

## 大学とのコミュニケーション

### ◆窓口対応時間◆

#### 【蓮田キャンパス】

通常(火～日) 9:00-17:00

科目修了試験日 9:00-18:30

スクーリング開講日 8:30-18:30

※スクーリング最終日(木・日)は17:30迄

※月曜日は原則休校です。

#### 【東京サテライト】

通常(火・水・金～日) 12:00-17:30

科目修了試験日 9:00-17:30

スクーリング開講日 8:30-18:30

※スクーリング最終日(木・日)は17:30迄

※月曜日、木曜日は原則休校です。

その他休校日については、以下の『キャンパス休校日のお知らせ』で確認してください。

### ◆電話・FAXによる問い合わせ◆

#### 【蓮田キャンパス】

**TEL : 048-749-6885**

FAX : 048-749-6110

#### 【東京サテライト】

TEL : 03-5298-8111

電話受付時間は窓口対応時間と同じです。FAXは24時間受け付けています。お問

い合わせの際は次の事項を厳守してください。

・やむを得ない場合を除き、必ず学生本人が連絡してきてください。

・電話の際、最初に「学籍番号」と「氏名」を告げてから用件を話してください。また、用件は簡潔にお願いします。

### ◆図書館・パソコン教室の利用◆

！注意！ 月曜日は利用できません。

#### 【図書館開館時間】

通常(火～日、休館日を除く) 10:30-17:30

スクーリング実施日等 10:30-18:30

スクーリング最終日 10:30-17:30

スクーリング等のない土曜等 10:30-16:30

図書館利用にあたっては、『学修生活の手引き』を参照してください。

#### 【パソコン教室開放時間】

通常(火～日) 9:00-17:00

スクーリング実施日等 9:00-18:30

パソコン教室は、行事と授業の関係で利用が制限されることがあります。また、パソコン教室の利用にあたっては、『学修生活の手引き』を参照してください。



各種申請・提出期間や締切等は『学修生活の手引き(別冊)』で必ず確認してください。

## キャンパス休校日のお知らせ

定休日の他に以下の日程で休校します。

### ◆蓮田キャンパス休校日◆ 月曜定休

5月 2日(木) 創立記念日

5月 3日(金) 憲法記念日

5月 4日(土) みどりの日

5月 5日(日) こどもの日

### ◆東京サテライト◆ 月・木曜定休

5月 3日(金) 憲法記念日

5月 4日(土) みどりの日

5月 5日(日) こどもの日

蓮田は(月)、東京は(月)(木)が定休日です。

### ◆図書館休館日◆

休校日に加え、以下の通り休館します。

4月 7日(日)

4月14日(日)

4月21日(日)

4月28日(日)

5月12日(日)

5月19日(日)

ご利用の際はご注意ください。休校日は変更になる場合があります。最新の情報は本学ホームページ(<http://www.human.ac.jp/>)でご確認ください。





## オフィスアワー予定表 4月16日～7月15日

教 員 名	日 時 (祝日等で休校の場合は除く)
岡野幸江 先生	金・土曜日 10:00～16:00
鍵谷方子 先生	土曜日 10:00～16:00
久住武 先生	第1・3金・土曜日 10:00～16:00
近藤昊 先生	第2・4土曜日 10:00～16:00
島田凉子 先生	土曜日 10:30～16:00
庄子和夫 先生	土曜日 10:00～12:00
鈴木はる江 先生	水曜日 14:00～16:00(4月のみ) 以後、土曜日 10:00～16:00
大東俊一 先生	土曜日 10:00～12:00
中野博子 先生	土曜日 10:00～16:00
中山和久 先生	水～土曜日 10:00～16:00
村上香奈 先生	土曜日 10:00～16:00
矢吹弘子 先生	木曜日 14:00～16:00
吉田浩子 先生	火曜日 10:00～16:00

右表の予定は、教員の都合により変更となる場合がありますので、予めご了承下さい。この他、水・金曜日で学内勤務日となっている場合は、先生と相談の上、面談を行うことも可能です。

**面談予約方法** 一面談申込は遅くとも2週間前必着。電話での申込は受けられません。

◆UHAS@Myキャンパス◆

UHAS@Myキャンパスの各種申請＞各種様式ダウンロードから「17 オフィスアワー用面談予約票」をダウンロードし、必要事項を入力の上、卒業研究係＞卒業研究Q&Aより添付で送信。

◆郵送◆

様式17「面談予約票」に記入し、学務課まで郵送(返信用15円切手を同封)。

※複数の候補日を記入してください。

※対面ではなく電話相談の場合も同様の方法で予約してください。

# 華蓮だより

## 人間総合科学大学通信

---

〒339-8539

埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288

電話：048(749)6885(月曜・祝日除く9:00-17:00)

FAX: 048(749)6110

E-mail: records@human.ac.jp

『華蓮だより』2013年春号

2013年4月1日発行

通巻第105号

発行／学校法人早稲田医療学園  
人間総合科学大学事務局

---

ホームページもご覧ください。  
<http://www.human.ac.jp/>

---

---

## 寄付金のお願い

### —社会に貢献できる保健医療人を輩出し続けるために—

人々の健康と幸福に寄与できる人材を育成し、医療・保健・健康・福祉分野に貢献する本学園の教育理念にご賛同頂ける方々に寄付金をお願いしております。

本学園は、全学的な経費の削減や公的資金の活用など懸命の努力を続けておりますが、なお多くの方々からご支援を賜り、さらなる資金を必要としております。ぜひとも、皆様からのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お申込み及び詳細は下記、本学ホームページをご覧ください。

<http://www.human.ac.jp/kifukin/index.html>



2008.4 - 2015.3

本学は平成20年度(財)日本高等教育評価機構による第三者評価の結果、大学評価基準を満たしていると認定されました。